



町長就任1年。皆さまに感謝!

海田町長 竹野内 啓佑



こんにちは。竹野内 啓佑です。町長に就任してから1年が経ちました。ふるさと・海田をフィールドに新しいまちづくりへの挑戦の機会を与えていただいたことに改めて感謝申し上げます。

町長は町の経営者。海田町をより活力のある町にする責任があり、苦勞も多くありますが、やりがいがある仕事です。町長選挙では「10年後、誰もが憧れるまち」をスローガンとして掲げました。憧れの町をつくるためには「センスのよいまちづくり」を志向しながら、いい建物を作り、いい環境へ改善し、いい取組を続けていくことが求められます。それが評価されて、人が集まる。結果として町の収益性も上がり、未来へ投資できる。

こうした好循環を生み出すためには、役場の経営資源(ヒト・モノ・カネ)を再配分していく必要があると考えています。そこで今年4月に大規模な組織再編を実施。公約実現に向けた体制が整ったところで、

現在、各部署がそれぞれのミッションを遂行中です。

公約に掲げた施策として、小学校校舎建替プロジェクト、おむつ支給回数倍増、給食費一部無償化など既に取り組みを進めているものもあります。あわせて、第三の場所づくり(※1)、稼働力の強化(※2)、町民の皆さんとの対話の実施など、町民ニーズや財源確保、官民連携を重視した取り組みも進めています。

「アーリー・スモールサクセス」(早い段階での小さな成功を積み重ねることが大事という意味)という考えの下、町民の皆さんに、より早く、より良い行政サービスをお届けできるようにしたい...引き続き、しっかり結果にコミットすることを意識し、職員とともに海田町を一步でも前進させるために仕事に取り組んでいきます!

※1 2024年8月号 町長コラム

※2 2024年11月号



令和6年度から事務事業の総点検に着手!

問 財政経営課(役場3階) ☎823-9201 FAX.823-9203

町長就任後1年を通して、海田町の各事業を俯瞰して見ることができました。10年前は妥当だった事業も、時代が進めば環境も変化し、町民ニーズも変化します。しかし、**これまでの時代の変化を踏まえた各事業の点検は十分ではない**ように見受けられました。当初の事業目的は何だったか? それは達成しているのか? こうした疑問を解決するため、**既存事業の検証・評価は避けては通れない**と考えました。事業に要するコストやその効果を洗い出して、成果が見える化する。その上で、事業性能が低くなったものや、有効性がはっきりしないものは、事業の廃止や規模の縮小を考えていかなければなりません。**「新しい海田」をつくるために、今後3年かけて事務事業を総点検し、時代に合わせてアップデートしていきたい**と思います。

海田町の未来へ投資するため 経営資源(ヒト・モノ・カネ)を もっと有効活用します。

民間の力を
借りられないかな?

無理・無駄はない?

妥当性はある?

デジタルは
活用できないかな?

効率のよい実施をしている?

